

かわさき区の宝物シート

| | |
|-------|---------------|
| 宝物No. | しおはましんめいじんじや |
| 16-1 | 塩浜神明神社 |



写真提供：NPO法人かわさき歴史ガイド協会

| | | | |
|-----|-------|------|----|
| エリア | 大師地区 | シーズン | 通年 |
| | 塩浜・夜光 | 日時 | |

| | | |
|----|--|----------------------------------|
| 目的 | <input checked="" type="checkbox"/> 観る | <input type="checkbox"/> 遊ぶ・体験する |
| | <input type="checkbox"/> 食べる | <input type="checkbox"/> その他 |

| | | |
|------|--|----------------------------------|
| 宝物定義 | <input type="checkbox"/> ものづくり | <input type="checkbox"/> イベント・祭り |
| | <input type="checkbox"/> 味づくり | <input type="checkbox"/> にぎわい |
| | <input type="checkbox"/> 現代の文化的なもの | <input type="checkbox"/> 港めぐり |
| | <input checked="" type="checkbox"/> 歴史的なもの | <input type="checkbox"/> 人物 |

| | |
|--------|------------------------|
| 所在地 | 川崎区塩浜2-7-10 |
| 問い合わせ | 若宮八幡宮 |
| TEL | 044-222-3206 |
| FAX | 044-233-3060 |
| E-mail | |
| URL | |
| 交通 | JR川崎駅よりバス「塩浜営業所」下車徒歩2分 |



基礎情報

■御祭神は天照皇大神。1670年代（四代将軍家綱の時代）に創建。幕末から明治にかけてはコレラが猛威をふるい、その際に村の女性が髪を切って奉納・祈願し、神明社の加護によって難を逃れることができたと伝えられる。拝殿内には明治19年(1866)に塩浜の人々が感謝し奉納したという大きな扁額が飾られており、神明社の御神徳と氏子の崇敬を表す貴重な証となっている。

由来・エピソード

■江戸の開府にともなって徳川家は、軍事上、上方からの塩の途絶をおそれ、江戸湾岸の諸村に塩田開発を奨励し、塩の生産がはじめられるようになった。大師河原村では寛文11年(1671)に塩浜新田村が創立し、鎮守として塩浜神明社が創建された。本殿の石製厨子には延宝7年(1679)の銘があり「新田鎮守」と記されていることから、この年に勧請されたとみられている。

■拝殿内には、創建当時に納められたお礼の額が掲げられている。社殿の四周に飾られている「高砂」をはじめ、慶事に関わる花鳥などの彫刻は一見の価値がある。

■『江戸名所図会・川崎汐浜』には、「その地、風光甚だ佳景なり」と謳われ、穏やかな波間に帆かけ舟が浮かび、寄州のヨシ原の間を小舟が行き交い、白砂が続く松並木のあいだから塩焼場の煙がたちのぼる様が描かれている。

補足・その他

■「塩浜」とは全国的にも多く見られる地名であり、かつては川崎の海岸部にも小田、渡田、大島（浜町）、池上新田などに塩浜の地名があったが、現在町名として残っているのは、ここ大師河原の塩浜のみである。

関連シート

(10-3)若宮八幡宮・若宮郷土資料室
(16-2)塩釜神社